

平成30年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

事業名	上谷新田区買物送迎事業	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	特定非営利活動法人 買物送迎フレンドリー （旧上谷新田買物送迎委員会）	高齢者支援課

事業費	予算額	決算見込額	市補助金額（交付決定額）
	463,000 円	312,229 円	177,000 円

【 ①目的・課題について 】

次の事項がわかるように、事業概要を記入してください。

○どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、

○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施したか。

高齢化が進む地域において、日常欠かせない買物が思うに任せない方々が増えており、交通不便地にとっては、大きな問題となっています。

そこで、地域の皆さんのボランティア精神に訴えて、2016年3月の区総会で、地域自前で買いもの困難者を支援する「買物送迎事業」を立ち上げることが決議されました。

準備を重ねて、その年の9月から毎週、木・土・日（現在は水・土・日）の週3便、地区から一番近い「スーパーハヤシ」までの送迎事業をスタートしました。

まず、利用希望者は「買物送迎車利用申込書」を運営主体である買物送迎運営委員会（当時）に提出し、利用にあたっては前日までに電話で予約することで、当日、ドアツードアで利用できる方法です。2017年5月からは利用しやすいように、区内8ヶ所に設けた停留所から予約なしで乗車できるように事前予約と併用制に切り替えました。

送迎車は7人乗りの自家用車を自前で調達し、運転は区内有志のボランティア、また買物を補佐するサポーターが必要な方には、同じくボランティアのサポーターを同乗するようにしました。

利用は無料、ボランティアも無償で行ってきました。

【 ②企画・効果 】

次の事項がわかるように、成果を記入してください。

- 事業の内容が具体的で目標達成に向けて適切だったか。
- 協働で行うことでどのような効果が得られたか。
- 住民の満足度は得られたか。 ○他の団体との連携や協力により効果をあげたか。
- 事業を行うことで、市民や地域、他の団体への波及効果（広がり）はあったか。

- 買物代行ではなく、利用者本人が店頭で買い物をすることで、得られる満足感や地域の皆さんとの交流が図られることで孤立しがちな方にとっても、買物送迎という選択は適切であったと考えています。
- 市が実施している「大網白里市住民協働事業」に応募し採択されて2年が経過しましたが、行政に期待したのは、市の持つ情報力や運営にあたっての適切なアドバイス、また、財政的な支援で、その点で、当事業が持つ有用性について確信を深めることができました。
- 買物行動は日常欠かせないものだけに、不便を乗り越えて、皆さん苦勞して日常を送っています。そういう中で、提案された買物送迎事業には少なからぬ反響があり、週3便・買物先が限定されているにもかかわらず、利用者は着実に増えてきました。今年度初めて実施した利用者アンケートにも感謝される気持ちが寄せられています。
- 地域独自にこうした事業を実施しているのは極めてまれなのか、私たち自身もそうした取り組みを行っているところとの情報交換をしたいところですが、まだ、そういう交流は実現していませんが、ハヤシ店頭では送迎車を見て立ち寄って話を聞きに来る人もあり、上谷新田に限らず、買物不便地でのニーズが高いことを実感させられています。今後はこうした方たちとの交流を深め何らかのお役に立てればと考えています。

協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 上記第2項に同じ	<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 利用者数が増えている

【 ③実行力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
公共交通手段が行き届かない交通不便地にあっては、公共交通システムの改善や、買物不便者などに対する行政施策に待つことなく、地域が直面する課題に不十分ながらも取り組むことで一つの解決の糸口を開いたものと考えています。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業のPRについて、市広報等で協力する。 ・他団体の事例紹介や各種法規制等運営上のアドバイスをを行う。

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 上記の通り	<input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 買物送迎、訪問型サービスDを行っている団体を集め、活動内容の紹介や意見交換等を行った。

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
<p>毎週、木・土・日の午前中に1便利用者自宅玄関前からスーパーハヤシまでの往復を送迎することで、2016年9月1日から送迎事業を実施しました。</p> <p>利用にあたっては利用したい登録者から、前日までに電話での予約制（この場合阿はドアツードア）と区内8ヶ所に設けた停留所から予約せずに利用できる方式で、現在は実施する方式で運行しています。</p>	<p>事前予約制と予約なしで停留所から利用できる併用方式に切り替えてから、別表のとおり、利用日・利用者数は格段に増加するようになりました。</p>

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<p><input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった</p> <p>(理由)</p> <p>無償のボランティアによる運行という点を考慮すれば、今のところは週3便の運行は無理のないところといえます。</p> <p>また、一番身近なスーパーに限定している点についても、コミュニティバスとの競合を避ける点や、ボランティアによる運転という点で交通煩瑣な街中を避けるうえでのリスクをできるだけ小さくする点でもおおむね適正な判断であると考えています。</p>

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

また、2年目、3年目の事業については、1年前、2年前と比べて、事業を継続したことで得られた効果も記入してください。

<p>スタートして三年目を迎え、区内広報紙「上谷新田だより」(隔月刊)や独自のチラシ・ポスターなどを通じて、時々広報をしてきたことや利用者の口コミなどで、徐々に利用者が増えてきたことから、それを支えるスタッフの充実も図ってきました。</p> <p>運転ボランティアはスタート当初6人でしたが、現在は10人となり、サポーターの方も4人が9人となっています。それにより、ひと月あたりの負担も軽減するようになりました。</p> <p>財政的にこの事業を支えるリサイクル活動も、第3日曜日の区内を巡回しての廃品回収事業も定着してきました。</p> <p>さらに、「大網白里市住民協働事業」への参加により市民権も上がるとともに財政的にも大きな支えとなっています。</p>
--

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input checked="" type="checkbox"/> 強化、活性化した <input type="checkbox"/> 概ね強化、活性化した <input type="checkbox"/> あまり強化、活性化しなかった (理由) 上記のとおり。

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

団 体
地域が抱える課題に何とか自前で解決ができないかということでスタートした事業ですので、協働事業に採択されたことで、市の行政サービスがどうなっかについてはわかりませんが、協働事業に採択されたことで、社会的認知を得たことで自信を深めることができました。
良かった点等については既にふれている部分もありますが、予算の作成のうえでアドバイスのあった有償福祉車両運転講習会については、無償で実施している当事業は該当しないものの、運転の心構えや制度的なことなど我々が承知しておくべきが多く役に立っています。
市
・団体と市が協働することにより、NPO 全国移動サービスネット等から意見をもらうことができ、よりよいサービスの実施につながった。また、高齢者人口の増加に伴い、買物弱者も増加しているこの地域においては、団体の活動によりサービスが充実し、引きこもりがちな高齢者も外にでる機会が増え、自分自身で買い物をすることにより認知症予防にも効果があると思われる。

また、その協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 市との協働を通じていろいろなアドバイスも受けて継続的な発展のため、協働事業後の新たな展望を見出すことができました。	<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) ・安全運転講習を実施しサービス向上につながった。

参考

買物送迎車・運行利用実績														
	16年度	17年度	2019年3月31日現在											
運行日	33	137	注1. 16年度は9月1日から運行開始											
利用日	33	102	注2. 16/9から17/4月までは事前予約のドアーツードア送迎											
利用者	49	213	注3. 17/5月から区内8ヶ所の停留所からの乗車と予約の併用制に											
運転手	33	137	注4. 19/2月はハヤシの改装工事で6回運行休止											
乗客	25	80	注5. 18/12/30日に利用者延べ500人に											
	18/4	5	6	7	8	9	10	11	12	19/1	2	3	18年度	累計
運行日	13	12	13	13	13	14	12	12	14	12	8	13	149	319
利用日	13	9	10	11	12	12	11	11	14	11	8	12	134	269
利用者	23	19	18	29	34	27	18	33	39	22	17	29	308	570
運転手	13	12	13	13	13	14	12	12	14	12	8	13	149	319
乗客	13	12	13	13	11	14	12	12	13	12	8	13	146	251